

# 石 すとーん・さーくる

No.111

発行 新潟県石仏の会(代表 星野 紀子)

2021年6月30日 発行

事務局 〒945-0837 柏崎市三島町16-2 渡邊三四一 電話0257-22-1941

ホームページ <http://niigata-sekibutu.voxx.jp>

石 仏 散 歩

## 獨立山砲兵第一聯隊

## 第三中隊一同

上越市 青 山 増 雄

「馬頭觀世音」である。右に「大正十四年五月十九日」とある。左に「獨立山砲兵第一聯隊第三中隊一同」と彫つてある。およそ六〇cmの高さである。大きなため池・犀ヶ池の端にポツンと建つていて、なぜこの池のふちにあるのだろうか。めったなことでは人は通らないのに。犀ヶ池周辺は、田植えの準備に忙しい。土地の人尋ねた。「軍隊が歩行訓練で通過した際、馬が何かに驚いて、荷車ごと池に落ちて死んだということです。その馬の供養だそうです」

一頭の馬の命を供養する兵士たちの心根の優しさを感じる。

上越市の春日山から、明治時代以前からの古い道で、現在の上越教育大学の西側、岩木集落を通り、この犀ヶ池を経て、滝寺に向かう道があつた。幅は六尺くらいの細い道。岩木からの道は、現在と違つて山道といつていい。大正十四年五月、独立山砲兵第一連隊第三中隊が、この地で訓練した。

事態はどんな状況にあつたのだろうか。大正十四年（一九二五）世界的な軍縮の流れで、日本陸軍は三分の一の兵力を削減した。上越市高田の第十三師団は廃止。町は急激にさびれた。跡地に、五月、仙台から第十五旅団と独立山砲兵第一連隊が移駐。「独立」とは、いずれの師団にも配属できる意味。

風薫る五月十九日である。仙台から移駐したばかりだった。おそらく初めての訓練、初めての道だつたのだろう。馬も人も、慣れない越後の狭い山道で、山砲の移動訓練に励んでいたのだった。哀れ。



こ  
まる  
やまよう  
はい  
ひ

# 小丸山遙拝碑を訪ねて

上越市 水 島 健 吾

承元元年（一二〇七）春、親鸞聖人は専修念仏禁止の弾圧により越後に遠流となつた。現上越市五智国分寺境内東側に草庵（竹の内草庵）を営み、一年後、少し南の竹ヶ前草庵（たけがはなそうあん）跡と云われた現本願寺国府別院の地に移り住んだ。建保元年（一二一四）、常陸国（茨城県）へ旅立つまで、この越後国府に七年間滞在したという。

江戸時代になると、親鸞聖人が暮らしたという「竹ヶ前草庵」があつた地「小丸山」が御旧跡として信仰をあつめた。地元、浄土真宗寺院等が宝暦十一年（一七六二）に親鸞五百回忌を記念して、寶持院所有の「小丸山」の地に仮堂を建て、後、阿弥陀堂が建立された。そして、文化二年（一八〇五）、西本願寺が現本堂を建て、昭和五年、本願寺国府別院と改称されるまで「小丸山」または「小丸山別院」として多くの門徒の信仰の拠り所となつた。

旧東頸城郡大島村（現上越市大島区）菖蒲の念宗寺は文政年間に活躍した十一代住職昌豊が、特に門徒の獲得教化に熱心であつた。

文政十一年（一八二九）、菖蒲と旧東頸城郡安塚町（現上越市安塚区）上船倉の境に「小丸山遙拝地」と太く陰刻した大きな石碑（高さ一五〇cm、幅六〇cm、厚さ三五cm）が建立された。右側面には「文政十二己丑歳初秋 七鳥建之 小丸山同行中」（七鳥は住職昌豊の号）とあり、真に立派な石碑である。

又、平成四年発行の「安塚町の石造文化」によれば、同様に旧安塚町朴ノ木と旧東頸城郡牧村（現上越市牧区）高尾の南端の薬師峠（六五〇m）に「石ぼとけ」と呼ばれる遙拝碑が地図記載されている。写真では「南無阿弥陀仏」と陰刻され、小丸山遙拝の文字もある。

この石碑を探そぐと残雪を越えて、藪を刈り払つて薬師峠古道を隈なく探し、漸く、倒れて地中に埋もれ背中を見せた石碑を発見したが一人ではどうしようもない。

後日、山仲間I氏の手を借り、一時間の重労働の末裏返しになつていた石（高さ一〇cm、幅三五cm、四五cm、厚さ二五cm、四五cm）を起こしてみたが「小丸山遙拝所」と深く刻まれているだけであつた。

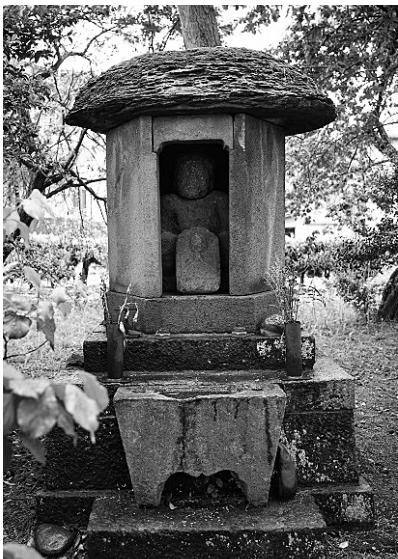


やはり目的の「石ぼとけ」とは明らかに違う。さてどうしたものか、新発見か？いやいや「石ぼとけ」はどこだ。

どうやら「安塚町の石造文化」に記載の朴ノ木の「石ぼとけ」（小丸山遥拝碑）の地図記載が間違っていたようだ。おそらく編集者が薬師峠にある遙拝碑を「石ぼとけ」と思いこんだのでは。

その後知人で安塚町史の編集に携わった秋山和喜氏から当該石碑は高尾との間の峰、朴ノ木から登つていくと左側にあるとの言質を得る事ができた。

日を改めて朴ノ木からの林道を下から歩いて（荒れ道で倒木が多数あり以前からあまり利用がない）登ること約四、五十分、かつての村境の峰で頸城平野が遠望できる絶好の場所にそれはあつた。



月建之」、中央「南無阿弥陀佛」、左「小丸山御舊跡拝禮地」、裏面下部には「安塚村石工で発掘した遙拝碑は果たして誰がいつ？新たな宿題ができた。

少し思い当たることもあるので今度はゆっくりと調べることにする。

## 地域の宝 荒町観音堂の石仏

上越地区事務局

上越市は令和二年度から知名度が無くても価値のある文化財を掘り起こして未だに伝えようと、「地域の宝」の募集をはじめた。初年度は「雨乞い地蔵」（三和区）、「飴地蔵」（板倉区）等石仏を含む六十件が認定された。

その一つ旧北国街道沿い荒町村（現上越



市大和三丁目）にある荒町観音堂は昔から村中で大切に守られてきた。

石造の六角堂に大小二体の古い石仏が祀られている。主尊の石仏は高さ七〇cmの坐像で表情に摩耗があるが肉髻、定印が認められ、本来は如来であろう。そのおおらかな像容からは平安時代末期造像とされる妙高市の関山石仏群を思わせる。もう一体は高さ三〇cmの板石地蔵塔婆で安塚区本郷の大永六年（一五六六）銘のものと類似である。由緒は諸説あるが天和二年（一六八二）の検地帳に「観音堂」が出てくること、石灯籠に弘化二年（一八四五）の銘があることから江戸時代より子供の夜泣きを治すご利益があるとして信仰されてきたという。

今も毎年四月十八日は町内行事として観音堂祭が行われている。

（文責・山田漫歩）

自然石で高さ一〇〇cm、幅三五cm、厚さ二〇cm、表面には右より「天保十一庚子九

## 事務局だより

### ◆有志日帰り見学会のご案内



期 日	9月16日(木)	見学地	不明・希望等あれば問合せ下さい。
テーマ	猪苗代のおんば様と石仏を歩く	参加費	新潟駅着 越後線 8時45分 信越線 8時44分
集 合	①7時 柏崎市文化会館アルフォーレ駐車場(赤レンガ風トイレ前) ②8時 長岡駅東口(ホテルニューオータニ前) ③8時50分 蔦屋 新潟中央IC 店駐車場	定 員	北区郷土博物館内沼神社、高森神社 近辺、福島潟、里飯野の石仏群ほか。
申込み	(昼食代・バス代等含む)	申込み	4500円
定 員	20名	電話	(昼食代・バス代等含む)
申込み	堀内正子まで(締切り9月30日)	携帯	090-6009-4682
定 員	20名	日 時	10月29日(金)9時30分~16時
申込み	本部事務局 渡邊三四一まで (締切り8月20日)	テ マ	越後出雲崎の石仏と町屋を歩く
定 員	20名	集 合	9時30分
申込み	(昼食代・バス代等含む)	見学地	JR越後線・出雲崎駅9時11分着
定 員	20名	見学地	天領の里、獄門跡、代官所跡、西照坊、良寛記念館、町屋散策ほか。
申込み	5000円	昼 食	道の駅「出雲崎天領の里」駐車場
定 員	20名	解 散	をご利用の方はご相談ください。
申込み	田中文明まで(締切り10月10日)	日 時	10月8日(金)9時~16時
定 員	20名	テ マ	旧豊栄市―福島潟周辺の歴史・石仏を訪ねて―
申込み	①新潟駅南口バスロータリー9時 ②豊栄道の駅(駐車場)9時20分 ③豊栄駅 9時30分	日 時	10月8日(金)9時~16時

### ◆下越・新潟地区見学会のご案内

日 時 10月8日(金)9時~16時

テ マ 旧豊栄市―福島潟周辺の歴史・石

仏を訪ねて―

①新潟駅南口バスロータリー9時  
②豊栄道の駅(駐車場)9時20分  
③豊栄駅 9時30分

### ◆令和3年度総会を開催しました

電話 0258-78-4857

5月16日(日)、長岡市民協働センターにおいて今年度総会が開催されました。

第一部(午後1時)は新潟県立歴史博物館・渡部浩二氏(当会会員)による「歴史の道

八十里越」と石仏と題する公開講演会で、35名(一般8名含む)の聴講でした。近世

庶民の旅を研究される氏の丁寧な解説を受け、八十里越を疑似体験した気分になり、映画「峠鑑賞前の最良のレクチャーとなりました。結びに、北国街道や三国街道に比較して道中の石仏が少ない点について、宿場など人ひとの営みがなかつた背景を指摘され、合点がいきました。

第二部(午後2時40分)の総会(会員26名参加)では、①令和2年度事業報告・会計報告、②新年度事業計画・予算案が審議され、いずれも全会一致で承認、最後に30周年記念事業の準備計画について報告があり、閉会となりました。なお詳細は同封資料を参考照下さい。

### ◆中越地区見学会のご案内

日 時 10月29日(金)9時30分~16時

テ マ 越後出雲崎の石仏と町屋を歩く

集 合 9時30分

見学地 J R 越後線・出雲崎駅9時11分着  
天領の里、獄門跡、代官所跡、西照坊、良寛記念館、町屋散策ほか。

道の駅「出雲崎天領の里」駐車場

をご利用の方はご相談ください。

会員登録申込書

### ◆新年度会費納入のお願い

令和3年度会費納入の振込用紙を同封しました。早めにお振込願います。

編集担当

上越地区事務局

11-44 〒949-4323